

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	チーム医療論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として28年病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士は、チーム医療に関する文言が最初に明記された資格である。臨床工学技士の業務毎に必要な、チーム医療について学び、チーム医療を支える医療人の一員となれる知識と技術を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート評価:70% 出席評価:20% 授業態度などの平常評価:10%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本(丸善出版株式会社) 参考図書:臨床工学技士標準テキスト 第4版(金原出版) 授業参考となるプリントを随時配布する。						
《授業外における学習方法》						
チーム医療を担う一因となるためには、臨床工学技士としての知識、スキルが必須であるので、全科目の復習をしておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
チーム医療を担う一因となるためには、臨床工学技士としての知識、スキルが必須であるので、全科目の復習をしておく必要がある。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	チーム医療の概念を説明できるようになる。	プロジェクター		臨床工学技士基本業務 指針を理解しておくこと
		各コマに おける 授業予定	チーム医療とは			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	代謝領域に必要なチーム医療の考えを説明できるようになる。	プロジェクター		臨床工学技士基本業務 指針を理解しておくこと
		各コマに おける 授業予定	代謝領域にけるチーム医療(1)			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	代謝領域におけるチーム医療の取り組みを説明できるようになる。	プロジェクター		臨床工学技士基本業務 指針を理解しておくこと
		各コマに おける 授業予定	代謝領域にけるチーム医療(2)			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	呼吸・集中治療領域に必要なチーム医療の考えを説明できるようになる。	プロジェクター		臨床工学技士基本業務 指針を理解しておくこと
		各コマに おける 授業予定	呼吸・集中治療領域にけるチーム医療(1)			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	呼吸・集中治療領域におけるチーム医療の取り組みを説明できるようになる。	プロジェクター		臨床工学技士基本業務 指針を理解しておくこと
		各コマに おける 授業予定	呼吸・集中治療領域にけるチーム医療(2)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 手術・周術期・循環領域に必要なチーム医療の考えを説明できるようになる。	プロジェクター	臨床工学技士基本業務指針を理解しておくこと
	各コマにおける授業予定	手術・周術期・循環領域におけるチーム医療(1)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 手術・周術期・循環領域におけるチーム医療の取り組みを説明できるようになる。	プロジェクター	臨床工学技士基本業務指針を理解しておくこと
	各コマにおける授業予定	手術・周術期・循環領域におけるチーム医療(2)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 臨床工学技士として必要なスキルを理解し、チーム医療の在り方を説明できるようになる。	プロジェクター	臨床工学技士基本業務指針を理解しておくこと
	各コマにおける授業予定	まとめ		